

2020年度 NUFSA 家族の日本語コース

国際教育交流センターアドバイジング部門

坂田 亜紀・後藤 知美

「NUFSA 家族の日本語コース」(旧「NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情コース」)は、名古屋大学に在籍する留学生の家族を主な対象とした名古屋大学留学生会(NUFSA)主催のコースである。運営は、家族支援の一環として、国際教育交流センターアドバイジング部門が留学生会と連携しながら行なっている。昭和62年(1987年)に開講した本コースは、令和2年(2020年)度で34年目を迎えた。例年国際ナショナルレジデンス東山の地下会議室にて授業を行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、春学期コースを初めてオンラインにて実施し、秋学期も同様にオンライン授業を開講した。

春学期開講にあたって、当初予定していた4月の開講を延期し、専門性と経験を備えた3名の日本語教師と実施内容を検討した。授業はZoomで行ない、開講前にクラス分けのためのインタビューやオンラインテストを実施すること、また、受講生への教材は郵送すること等を決め、試行的に受講生数には定員を設け、受講料は無料とした。帰国する留学生や来日できない留学生が多い中、春学期の受講者は6名であった。当初の予定通り、クラスを全4クラス編成から2クラス(初級前半のクラス1とクラス2)編成とし、火曜日と木曜日の週2日、1時間半の授業を行なった。授業最終日には、例年実施していた会話練習セッションの代わりとしてオンラインイベントを実施した。各クラスが学習の成果を発表し、また、名古屋大学留学生会の他、後述の名古屋栄ライオンズクラブやボランティアグループ「ひろば」の方々と会話練習を行ない、交流を持つ貴重な機会となった。秋学期は14名が受講し、コロナ禍で来日が遅れ、学期を通して母国から受講した家族や、期間中に一時帰国し母国から受講した家族もあった。オンライン開講式には、名古屋大学留学生会や地域の関係者も参加した。最終日のオンラインイベントは、受講生が大学や地域の関係者と日本語学習の成果を共有し、さらに、コロナ禍で孤立しがちな時期に多様な参加者と交流する機会となった。

今年度のコース運営資金は、受講料を無料としたため、名古屋大学留学生会後援会からの補助金と名古屋栄ライオンズクラブからの寄付に加え、国際機構実施経費を申請した。名古屋栄ライオンズクラブからは平成6年(1994年)秋より継続的に支援いただき、支援を受けた受講生の人数は今年度で延べ2,340名となった。

平成15年(2003年)より昨年度まで地域のボランティアグループ「ひろば」による託児サービスを行っていたが、今年度は中止となった。

今年度は留学生やその家族にとって、来日自体が難しく、また、来日後も外出制限があり対面で交流する機会がほとんど持てない困難な一年となった。一方で、オンライン開講により母国からの受講が可能となり、新しい形態での日本語支援が可能となった。

オンラインと対面のいずれにしても、日本語学習を必要とする家族が安心して日本での生活が送れるよう、コースを継続することが必要であると考えている。大学が家族の日本語学習や日本社会での生活を後押しすることは、留学生自身が学業や研究により力を注ぐことに繋がっている。日本に再び多くの留学生が訪れるようになったとき、本学が家族帯同留学生たちも迎える環境にあるよう、コースの継続を模索していきたい。

コース担当教師からの報告

2020年早々からのコロナ情勢により、我々のコースも例外なく大きな影響を受けたが、通常より1ヶ月遅れの5月からオンラインで開講するに至った。受講生は春学期秋学期を合わせて20名で、両学期ともレベル別に2クラス設けた。授業は全てオンライン同期型で実施した。授業時間外にもSNSなどを活用して予習や宿題添削、情報交換を行ない、語学学習と交流を図った。

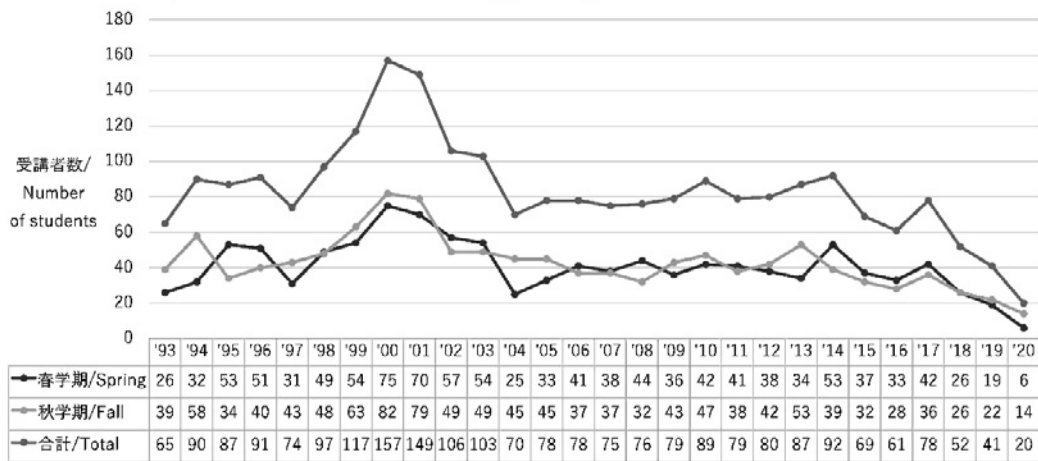
両学期の授業最終日にはオンライン交流会を開催した。交流会には名古屋栄ライオンズクラブをはじめ、

NUFSA, 「ひろば」から多数ご参加くださった。春学期は19名が集まり、受講生が国紹介やスピーチを行なうと、参加者からは質問や感想が飛び交った。また、秋学期の交流会は32名が参加し、小グループに分かれて日本語での会話を楽しんだ他、受講生は国紹介と昔話の朗読を行なった。国紹介で使用した画像には、交流会終了後も質問や感想など多くのコメントが書き込まれた。

本年度は厳しい状況下ではあったが、各関係機関からの例年以上のご尽力のおかげで無事終了することができた。今後の情勢は未だ見通せないが、引き続きこのコースで受講生を支えていきたい。

教師：岩崎陽子
 邊見香苗
 水野百々世

NUFSA 家族の日本語コース 受講者数の推移
 NUFSA Japanese Course for Family, changes in the number of students



総計/Total : 2,340人